

# 図書だより



今月の目標!

◇ 心に残る本を読もう

令和4年 9月号

## 月をながめよう、月の本を読もう。



昔の人が作った和歌に「月々に月見る月は多けれど 月見る月はこの月の月」とうたわれたのが「中秋の名月(旧暦8月15日の月)」だと言われています。今年の中秋の名月は、9月10日(土)です。また、八重山では十三夜の月を愛でる風習があります。民謡「月ぬ美しや」は十三夜の月と十五夜の月(満月)のことをうたっています。今月の学校図書館は「月」にちなんだ本を紹介しています。ぜひ手に取って読んでみてください。



えほん  
絵本



『お月さまってどんなあじ?』 マイケル・グレイニエツ/作 セーラー出版

◎ お月さまってどんなあじなんだろう? ある日ちいさなカメがお月さまをかじってみようと決心し、ほかのどうぶつたちもカメに協力します。お月さまをあじわうことはできるのでしょうか?

『おんがくかいのよる』 たしろちさと/作 ほるぷ出版

◎ あるまんげつのうつくしいばん、きこえてきたうつくしいメロディーにねずみたちはむちゅう。ざいりょうをさがしてがつきをつくり、なんにちもれんしゅうしておんがくかいをひらきます。



しぜんかがく げいじゅつ  
自然科学・芸術



『四季の星空ガイド 沖縄の美ら星』 宮地竹史/作 琉球プロジェクト

◎ 中秋の名月の美しさは格別ですが、秋は毎日変わる月の形や星々を楽しむのにも良い季節です。長い歴史と暮らしのなかで、美ら星に込められた沖縄の人々の思いや願いを知ることができます。

『とうばら一まの世界(CD 付き)』 大田静男/作 南山舎

◎ 八重山を代表する民謡「とうばら一ま」には、月が出てくる歌詞がいくつもあります。「ウターイズストゥヌシ (歌は歌う人が主)」。とうばら一まで島言葉を読んでみませんか。



ものがたり  
物語



『竹取物語/虫めづる姫君』 越水利江子/文 学研プラス

◎ 昔々、おじいさんが光りかがやく竹の中から見つけた女の子。美しく育ったかぐや姫は五人の貴族から結婚を申し込まれます。美しい月を見てためいきをつくかぐや姫には秘密がありました…



『ムジナ探偵局〈満月池の秘密〉』 富安陽子/作 童心社

◎ 満月池のほとりに建つ古い洋館、西音寺家。またの名を幽霊屋敷…。白ひげの幽霊はなぜ姿をあらわしたのか? わずかな手がかりをおって、ムジナ探偵と源太少年の調査がはじまります。